

来年度への夢をこめシビアな会議となりました。【次回への出席をお願いします】

2月15日に今年第1回目の運営委員会を開きました。昨年の販売や牛乳パック回収の状況の報告と、来年度の予算案をセンターから出しそれをめぐって意見がだされました。昨年はセンターの財政の立て直しと販売や通信の定例化にとりくみある程度めどがたってきました。また国と共に県からも小規模作業所の助成金が下り、市からも3月には下りる見込みです。

そこで来年度は

- 1 新しい仲間を受け入れる
 - 2 売上げを伸ばし新しい仕事を開拓する
 - 3 全員に給料（分配金）を出す
 - 4 常勤の専従をもう一人見つける
- この4点が早急に取り組まなければならない課題として確認されました。

具体的には

- ◆ 1 については新たに週に1, 2回通う人が2名、それから条件が整えば毎日でも希望する人が2名おり、通ってくる方法や住まいのことなどで問題点が検討されました。

◆ 2 については

● 販売については定期的に預かってくれる所を増やすため、学校に限らず例えば県下の在宅の障害者と販売のネットワークを作ってはという意見、また行事やイベントでの販売を増やすため情報を教えてもらえる所を増やし年間計画を立てられるようにしたい。

● パックについて生協からだけでなくセンターに直接持込や取りに来てくれという所も増えているが、まだ数字に表われるまでになっていない。

できれば組織的に回収に協力してくれる所が欲しい。

● 新しい仕事としてDM作業やワープロでの文書作成などにとりくみはじめておりセンターとしては意欲的だが、どこからそんなに仕事がもらえるか、売上げ目標が高すぎるなどの意見が出されました。

◆ 3 については

1, 2を達成して今年は給料が欲しいネというのが目標ですが、現在は生活保護や障害者年金のない健常者の専従にだけ毎月定額の給料が出されているだけです。

これについて励みになるから少々無理をしても出したほうがいいという意見と、まだこの予算ではむりなのではという意見が出され次回に持ち越しになりました。

◆ 4 については

1, 2, を達成し活動を活発にするためには、ぜひとも常勤の専従（車の運転ができる人）がもう一人欲しいのですが、助成金が下り、売上げ目標が達成できたとしても常勤の人の生活を保証できるような給料が予算案では組みませんでした。

人選も含めどうするか次回への持ち越しとなりました。

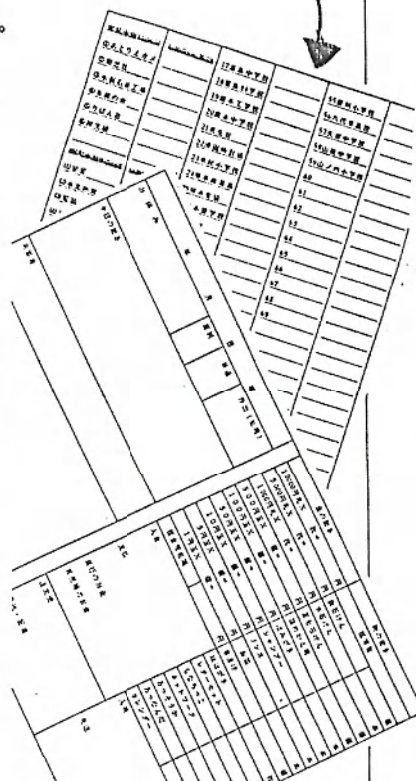
最後に、新年度（4月から）の新代表に倉田哲也氏を選び、これまでの4年間代表をつとめた池田大輔氏の労をねぎらって、会を終りました。

いつもお世話になってます。粉せっけんを買って頂いたり牛乳パックを集めてもらい本当にありがとうございます。

今、これらの利益だけではセンターを運営する事はできずに助成金をもらい何とか、やりくりしています。

しかし、私達がめざしているものは、自分達で出来る仕事を見つけることであり、その中の一つとしてワープロ打を新しい仕事として始めることになりました。

文書作成、広告、ビラ、等何でも結構です、ワープロで打ってほしいと思われてる方はセンターまでご連絡ください。



公示 運営会議開催のお知らせ

日時：3月23日（金） 7:00～

場所：労働センター内

議題：1990年度事業計画と予算について

—長期的展望について 試案提出—

※会議は定刻に始めたいと思いますので、運営委員の方はぜひ、また委員以外の方もどうぞ積極的にご参加下さい。

INFORMATION

① 4月（日）TKUで開かれるリビンが「レジセル」にセンターも出店します。定番商品の外に、かうつろ、不用品・掘り出し物なども売りたいと思います。食品以外何でもいそぞろです。何かありましたらセンターにお持ち帰りください。

② センターでも販売している水俣石けん工場製の粉せっけん「しろめい」にエコマーク（自然と環境にやさしい商品）がついているのをご存知ですか？ 九州の粉せっけんでは「しろめい」だけだそうなんです。どうぞ一層のご利用を！

DM作業2回目、無事完了！ —ご協力ありがとうございました—

ダイレクトメール発送作業第二回目を2月23日から3月8日までの期間で折り込み、封入、のり張りシール張り（住所と名前が書いてある）郵便番号別に仕分ける作業です

今回は2回目でしたので、皆も前より早く出来ました。しかし途中先方の手違いがあり、手伝いを頼んでいた方々にご迷惑をおかけして申し訳ありませんでした。又、手伝っていただいた方々にはお礼申し上げます。皆も楽しくやれてよかったと言っています。

2月のセンター日誌から

- | | |
|-------------|--------------|
| 2日牛乳パック積み出し | 14日パック積み出し |
| 3日牛乳パック作業日 | 15日人吉上村委員会見学 |
| 5日牛乳パック作業日 | 20日尾の上小パック回収 |
| 8日来民小学校見学 | 20日健軍小パック回収 |
| 10日牛乳パック作業 | 20日山の内小パック回収 |
| 15日運営会議 | 23日から8日間 |
| | DM封入作業 |



水俣の廃食油原料の粉せっけん

環境保全商品に指定

マーク付け、出荷始まる

水俣病患者や支援者らでつくる「水俣せっけん工場」(代



表・田上義春水俣病互助会長)製の粉せっけん・しらぬひが、環境庁の外郭団体・日本環境協会の環境保全型商品に九州でただひとつ指定を受け、十八日から、同商品指定を示す「エコマーク」を張って出荷され始めた。

同指定は環境保全型商品の

普及、環境保全意識の高揚などを目的に同協会が今年から始めた事業。二月の七種類に続き、今秋の第二次指定で、一〇〇%古紙によるトイレットペーパーや空き瓶回収ボス

トなどとともにしらぬひを含む廃食油再生型五商品が指定された。

回収し、これを原料に月に粉せっけん約千袋(一袋三き)

を生産、水俣・芦北を中心に県内外に出荷している。

同工場は水俣病の教訓を踏まえ、環境を汚さない新しい暮らしの在り方を求めて「水俣・せっけんをつくる会」(代表同)が昭和六十二年二月に設立。川や海の汚染源のひとつといわれるてんぷら油やサラダ油などの廃食油を市内の一般家庭や病院、飲食店、旅館などから月千五百〜二千リたい」と話している。

労働センターで売っている石けんです

最近売上が減っていますので

皆さんの御協力をお願いします